



【発信日】令和4年5月23日

【問い合わせ先】

乾側公民館

館長 早川 歩

電話 0779-66-3756

閉校後も醍醐寺との交流を継続！

～乾側地区小中学生による

『乾側っ子田（いぬいかわっこでん）田植え』を実施～

令和3年3月31日をもって、乾側小学校が閉校となり、学校行事としてこれまで取り組んできた京都市醍醐寺及び京都市立醍醐小学校との交流を乾側をよくする会が引き継ぎ、実施します。

まずは、「乾側っ子田（いぬいかわっこでん）田植え」を実施します。醍醐小学校の訪問はコロナのためありませんが、乾側地区小中学生がタンチョウもち米の苗を手で植えます。

今後は、10月に稲刈り、収穫したもち米を醍醐寺、醍醐小学校へ奉納する予定です。

つきましては、当日の取材をお願いいたします。

記

- 日時 5月28日（土）午前9時から午前10時30分ころまで
※雨天中止（前日（27日）に可否決定します。）
- 場所 乾側っ子田（旧乾側小学校プール北側）
- 主催 乾側をよくする会
- 内容 田植え（乾側地区児童による手植え）
- その他
 - ・今年度は醍醐小学校との交流はありません。
 - ・醍醐寺及び醍醐小学校との交流履歴は別紙のとおりです。

【京都市醍醐寺、京都市立醍醐小学校との交流について】

(R2 まで)

- ・毎年、5月に醍醐小学校5年児童が乾側小学校を訪問し、田植え交流を実施
- ・11月中旬には収穫したタンチョウ餅米を醍醐寺に奉納、醍醐小に贈呈するために児童代表が京都を訪問
- ・隔年で行う乾側小学校の修学旅行で5・6年児童が醍醐寺を訪問し、世界遺産である境内を案内していただく
- ・R2はコロナのため、田植え中止、稲刈り後、餅米を郵送にて醍醐寺に奉納、醍醐小に贈呈している

(R3 から)

- ・学校田(乾側っ子田)行事(田植え、稲刈り等)を乾側をよくする会が継続

<交流の経緯>

年	内容
平成16年	乾側小の総合的な学習の時間に地域探求学習を進めている中で、乾側地区は京都醍醐寺の荘園であったことを知り、それが縁となり6年生が修学旅行で醍醐寺訪問を開始
平成21年	醍醐寺訪問の際、学校田でとれたタンチョウ餅米を献上 醍醐寺に醍醐小学校の校長・児童代表が来校し、両校の交流開始
平成22年	醍醐小5年児童が乾側小を訪問 学校田の田植え活動を一緒にする
平成23年	5月の修学旅行で乾側小5・6年児童が醍醐小を訪問し交流会開催 また、春の田植え活動は一緒にできなかったため、7月に醍醐小5年児童が乾側小を訪問し、ゲームや紹介などの交流会開催
平成24年	醍醐小5年児童84名と一緒に乾側小児童が田植え交流 11月中旬には、収穫したタンチョウ餅米を醍醐寺に奉納、醍醐小へ贈呈
平成25年	醍醐小5年児童69名と一緒に乾側小児童が田植え交流 10月に、乾側小5・6年児童が修学旅行で醍醐寺を訪問し、収穫した餅米を奉納(日程の都合で醍醐小は訪問できなかったが、餅米は贈呈)
平成26年	田植え交流を行う時に乾側米の「おにぎり給食」をみんなで食べる
平成29年	乾側米で作った「アバンセ乾側」の米粉パンを給食に提供
平成30年	乾側米で「セルフおにぎり給食」実施 自分で大きなおにぎりを作って味わう
平成31年 令和元年	交流10周年記念として、田植え交流集会の時間を長く設定し、田植え交流・交流給食・10周年記念式典・交流会の4部構成で実施 5月の修学旅行で5・6年児童が醍醐寺を訪問 10月収穫感謝祭「ふれあい集会」(保護者や地域の方々を招待して、収穫した餅米を使用した赤飯をいっしょにいただく)のなかで、醍醐寺より贈呈されるサクラの苗木の記念植樹実施

	<p>11月全校児童と保護者、教職員が京都を訪問し、タンチョウ餅米を醍醐寺へ奉納、醍醐小に贈呈</p> <p>雨乞い踊り保存会と共に「雨乞い踊り」も奉納</p> <p>乾側小の醍醐寺訪問に合わせ、乾側をよくする会主催による「醍醐寺訪問ツアー」開催し、乾側地区住民で醍醐寺を訪問、奉納の様子を見学</p> <p>醍醐寺では、奉納された餅米が「五大力尊仁王会（ごだいきそんにんのうえ）」の巨大な紅白鏡餅となる</p> <p>2月頃に細かく切ったお飾りを送っていただいた</p>
令和2年	乾側小学校で田植え、稲刈り、奉納（郵送）
令和3年 3月31日	乾側小学校が下庄小学校と統合
令和3年	<p>乾側をよくする会主催で乾側地区小中学生対象に醍醐寺交流事業として実施</p> <p>田植え ⇒ 雨天中止※醍醐小学校との交流はなし</p> <p>稲刈り ⇒ 地区児童で実施</p> <p>奉納 ⇒ 醍醐寺、醍醐小学校へ郵送</p>
令和4年	